

地域とともに

東北電力株式会社

執行役員 青森支店長 齋藤 光春



青森県に初めて電気の明かりが灯って120年余り。以来、県内の暮らしや経済活動のあらゆる場面で電気をお使いいただいております。

東北電力では、創立以来、「東北の繁栄なくして当社の発展なし」という想いを胸に、社員一人ひとりが地域社会の一員としての責任と役割を果たし、地域の皆さまとのコミュニケーションを深め、信頼関係をより強いものにしていくという「地域協調」の考え方に基づき、地域の行事や祭りへの参加、植樹・清掃といった環境保全活動など、様々な取り組みを行っております。

今回は、そのような取り組みの中から、地域の元気づくりに役立てればと思い、行っている活動のいくつかについて、紹介させていただきます。

少子化が進む今日、子どもたちは地域の明日を担う宝といっても過言ではありません。そのような子どもたちの個性や才能をのびのびと育てる環境づくりのお手伝いとして、当社では「放課後ひろば」と名付けたプロジェクトを展開しております。このプロジェクトでは、文化、芸術活動やスポーツへの支援をはじめ、エネルギー・環境教育の提供など、多様な活動を行っております。具体的には、生の音楽に触れる機会の少ない児童・生徒にプロの演奏家の演奏を届ける「スクールコンサート」や、40年以上続いている「中学生作文コンクール」、今年で32回目を数える「東北ミニバスケットボール大会」などがあります。また当社社員が小・中学校などを訪問し、発電の仕組みや家庭に電気が届くまでな

どについての授業を行う「エネルギー出前講座」、「施設見学会」、「職場訪問」など、子どもたちの成長を応援する取り組みも行っています。

一方、全国に先駆けて人口減少が進む東北地域では、暮らしの礎となる地域コミュニティの活力が失われる懸念があります。このため当社では、「まちづくり元気塾」という地域づくりの支援プログラムを提供しております。本プログラムは地域活力の再生や自立に向け、地域で課題解決に取り組む団体に対して、まちづくりの専門家を派遣してアドバイスを行うものです。本プログラムは、2006年から行っており、派遣を契機に地域に新たな動きが出るなどの効果も表れております。これとは別に、地域産業の振興や地域コミュニティの再生・活性化、交流人口の拡大など、地域の課題解決に向けて自主的な活動を行っている団体に対して活動資金の助成を行う「東北・新潟の活性化応援プログラム」も、今年で3年目を迎えました。

こうした活動のほかにも、東北地域の国際化支援や地域産業発展に資する支援など様々な活動を行っております。

このような当社の取り組みが、地域産業の振興や交流人口の拡大などに結びつき、ひいては、青森県をはじめ、東北や新潟といった地域全体の成長・発展につながればと期待しているところです。当社はこれからもグループスローガン「より、そう、ちから。」のもと、グループ各社が一体となって、これまで以上に地域に寄り添いながら、活動を展開してまいります。